

「最後は勝つ。上がダメでも市民で勝つ。」

宝島社・企業広告 7月21日(火)掲載

ファッション雑誌販売部数トップシェア(※)の株式会社宝島社(代表取締役社長:蓮見清一 本社:東京都千代田区)は、2020年7月21日(火)、企業広告「最後は勝つ。上がダメでも市民で勝つ。」を日本経済新聞に掲載します。

弊社では、商品では伝えきれない“企業として今、社会に伝えたいメッセージ”をお伝えするため、1998年より企業広告を実施しています。これまでYahoo! ニュースのトップに掲載されるなど、様々なメディアで取り上げられ、新聞の読者に限らず多くの方の目に留めていただきましたが、近年ではSNS上でも多くの方に話題にいただいています。

宝島社は今後も、企業として社会に伝えたいメッセージを、企業広告を通じて世の中にお伝えしてまいります。
※日本ABC協会 雑誌発行社レポート2019年下半期(7~12月)より

●日本経済新聞 全国版 7/21(火)朝刊掲載



【制作スタッフ】

- 企画:宝島社+電通
- シニア・プライム・エグゼクティブ・プロフェッショナル/
エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクター 古川裕也(電通)
- エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクター 磯島拓矢(電通)
- コピーライター 橋本卓郎(電通)
- アートディレクター 柴谷麻以(電通)

【広告意図】

見えない敵との戦いは続いています。
私たちの生活は大きく変わりました。
誰も経験したことのない状況に立ち向かい、
人類は、世界は、前へと進んでゆきます。
私たち一人ひとりに何ができるのか、何をすべきなのか。
この広告が、考えること、行動すること、
そのきっかけになれば幸いです。

宝島社のこれまでの「広告」の一部を紹介します。～「商品」では伝えきれないメッセージを「広告」で～
<https://tkj.jp/company/ad>

2020年1月

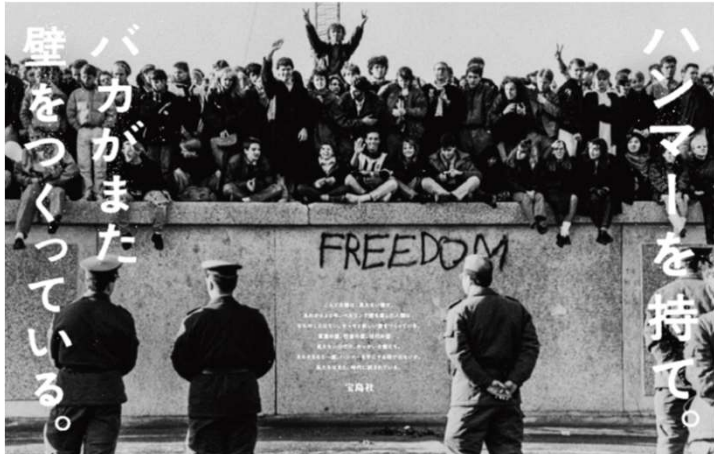
企業広告「長寿先進国、おめでとう。」



【受賞】
2020 読売広告大賞(準グランプリ)

2020年1月

企業広告
「ハンマーを持って。バカがまた壁をつくっている。」



2020年1月

企業広告
「次のジョブズも次のケネディも次のアインシュタインも、きっと、女。」





2019年1月

企業広告

「敵は、嘘。」
「嘘つきは、戦争の始まり。」

2019 広告電通賞(プリント広告最高賞)
2019 TCC賞



2018年10月

企業広告

「あとは、じぶんで考えてよ。」
「サヨナラ、地球さん。」

2018 読売広告大賞(準グランプリ)
2018 朝日広告賞(出版部門賞)
2018 TCC賞
2018 広告電通賞(銀賞)
2018 読者が選ぶブレイク広告グランプリ GOLD

2019 ACCブランドド・コミュニケーション部門Dカテゴリー ブロンズ
2019 ACCブランドド・コミュニケーション部門Cカテゴリー ファイナリスト
2019 コマーシャル・フォト 年間グラフィック広告ベスト 1位



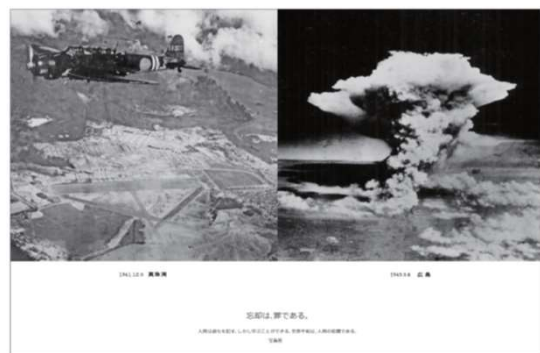
2018年1月

企業広告

「世界は、日本を待っている。」

【受賞】

2017 第34回 読売広告大賞
(カルチャー・エンターテインメント部門 優秀賞)



2017年1月

企業広告

「忘却は、罪である。」

【受賞】

2016 朝日広告賞(準出版部門賞)
2017 読売広告大賞(学ぶ部門 最優秀賞)
2017 日経広告賞
(出版・コンテンツ・教育部門 最優秀賞)



2016年1月

企業広告

「死ぬときぐらい好きにさせてよ」

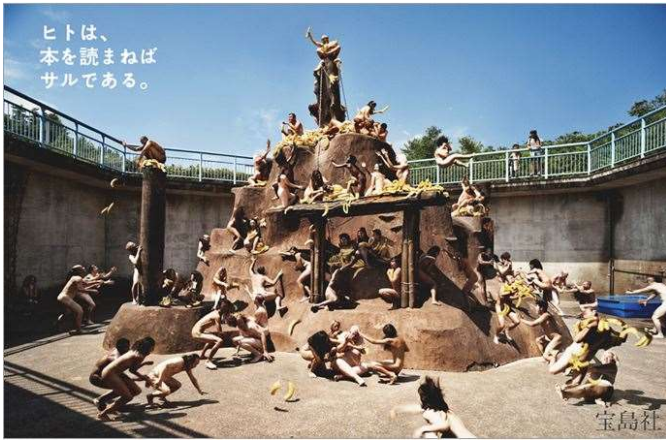
【受賞】

2016 読売広告大賞(グランプリ)
2015 朝日広告賞(グランプリ)
2015 朝日新聞読者賞
2016 日本新聞協会 新聞広告賞

(広告主部門・本賞)

2016 ADC賞
2016 TCC賞
読売出版広告賞(審査員特別賞)
JAA広告賞(新聞広告部門 メダリスト)
2016年度 グッドデザイン・ベスト100
2017 JAGDA賞

2020年7月21日



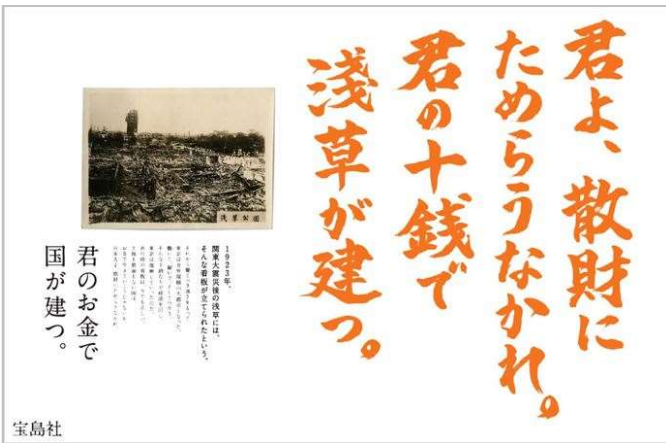
2012年

企業広告

「ヒトは、本を読まねばサルである。」

【受賞】

- 2013 第66回 広告電通賞 (新聞広告 企業部門 優秀賞)
- 2013 第53回 消費者のためになった広告コンクール (企業PR部門 銅賞)
- 2012 第61回 朝日広告賞 (準朝日広告賞)
- 2013 新聞広告賞(広告主部門 優秀賞)



2012年

企業広告

「君よ、散財にためらうなかれ。」

君の十銭で浅草が建つ。」

【受賞】

- 2012 第61回 日経広告賞 (出版・コンテンツ・教育部門 部門賞)



2011年

企業広告

「いい国つくろう、何度でも。」

「Yahoo! ニュース」TOPにも
掲載され、話題になりました

【受賞】

- 2011 読売広告大賞(金賞)
- 2011 毎日広告デザイン賞(優秀賞)
- 2011 フジサンケイグループ広告大賞 (メディア部門 新聞 優秀賞)
- 2011 日経広告賞 (出版・コンテンツ・教育部門 部門賞)

日本の犬と、アメリカの犬は、会話できるのか。

宝島社

＜アメリカ掲載媒体＞
ニューヨーク・タイムズ、
ワシントン・ポスト

Can a Japanese dog
and an American dog
talk to each other?

宝島社

＜日本掲載媒体＞
朝日新聞、読売新聞、毎日新聞、
日本経済新聞、産経新聞、
日刊ゲンダイ

2010年

企業広告

「日本の犬と、アメリカの犬は、会話できるのか。」

日米同時掲載
6冠受賞

【受賞】

- 2010 朝日広告賞(準朝日広告賞)
- 2010 読売広告大賞(銀賞)
- 2010 フジサンケイグループ広告大賞 (クリエイティブ部門 新聞優秀賞)
- 2010 毎日広告デザイン賞(部門賞[出版])
- 2010 広告電通賞(新聞広告電通賞)
- 2011 新聞広告賞(広告主企画部門・本賞)



2003年

企業広告

「生年月日を捨てましょう。」

【受賞】

- 2003 朝日広告賞(出版・学校部門賞)
- 2004 読売出版広告賞 (金賞)
- 2003 毎日広告デザイン賞(出版部門賞)
- 2003 日刊スポーツ アドグランプリ (カラー広告部門 インパクト賞)
- 2003 広告批評年間ベストテン (新聞3位)
- 2003 スポニチ広告大賞(カラー部門 優秀賞)
- 2004 グッドデザイン賞 (コミュニケーションデザイン部門)



2002年

企業広告

「ことし、子供をつくろう。」

【受賞】

- 2002 朝日広告賞
- 2002 日経広告賞(出版部門 優秀賞)



2002年

企業広告

「国会議事堂は、解体。」

【受賞】

- 2002 朝日広告賞(朝日広告賞)
- 2002 毎日広告デザイン賞
- 2002 日経広告賞(部門賞)
- 2002 TCC賞
- 2002 ADC賞
- 2002 読売広告大賞(金賞)
- 2004 第48回 グッドデザイン賞



1998年

企業広告

「おじいちゃんにも、セックスを。」

【受賞】

- 1998 朝日広告賞(準朝日広告賞)
- 1998 毎日広告デザイン賞(優秀賞)
- 1998 読売出版広告賞(書籍部門賞)